

令和6年度 コミ協役員・自治会長のご紹介 (敬称略)

コミ協役員

自治会長

会 長	落合 正浩	楠元上自治会長	黒木 政俊
副 会 長	下中村 健一	楠元中自治会長	北野 勝則
副 会 長	大原 信一	楠元下自治会長	北野 確
監 事	吉留 信也	戸田 自治会長	戸田 英樹
監 事	三浦 洋一	木屋園自治会長	上木屋 増至
自治会活動部会長	北野 勝則	吉野山自治会長	小牧 兼二
地域防災部会長	釘田 知明	瀬越 自治会長	上野 良和
環境整備部会長	下木屋 宏一	瀬戸 自治会長	瀬戸 憲一郎
青少年育成部会長	吉永 佳美	長野 自治会長	原田 淳一
福 祉 部 長	木ノ下 さつき	久住 自治会長	中山 秀郎
社会体育部会長	永吉 康之	正込 自治会長	森満 裕幸
生涯学習部会長	長野 裕子	飯母 自治会長	午除 正幸

令和6年4月11日コミ協の総会です承されました。これから宜しく御願います。

女性学級が「あゆみサークル」へ

「はんとけん体操」がサロンへ



平佐東地区コミセンからのお知らせ

4月末から5月初めにかけてコミセンの開館は暦通りになります。5月1日、2日は通常通り開いていますが、その他の土曜・日曜・祝祭日は閉館する予定です。何かございましたら、事前に事務室までご相談ください。

第13回 平佐東レキバナ(歴史話)講話 (茶園三洋さん)

牛這(うしばい)祭りと楠元・南方(みなみかた)神社(1)

昭和60年発行の「川内市文化財要覧」に以下のように紹介される。

これは、江戸初期から毎年生神神社(おいかみじんじゃ:字宝岩)の神殿で行われていたが、明治中期になって4年に1回の祭りになった。その後、昭和32年以降、過疎化に伴いやむなく中断されていたのを、同52年に復活し、現在は生神神社が合祀(神・霊を一つの神社に一緒にして祭ること)された南方神社に奉納される4年ごとの祭りである。

神事のあと、氏子一同はびしょびしょに水で濡らした藁をつけた親奴(おややっこ)、子奴(こやっこ)を路みち振りながら神田に向かう。雨乞いと悪疫退散の意味があるという。神田には注連縄(しめなわ)が張られ父(テチヨ)が出てきて、田水がはられていないのに腹を立て、どなりながら畦をきれいにしたところへ、牛を引いた息子が田を鋤くが、牛が暴れる。息子も怒って暴れる。(人の扮した牛が、田を四つ足で這(は)いまわるから牛這祭の名がある。)やっと田が鋤かれたところへ、父の女房と下女がお赤飯を持ってきて食べさせ、見物衆にも振舞われるが、女房の所作が誠に艶笑味たっぷりでおかしい。そのあと苗(椎の枝)を見物衆もいっしょに植えてこの祭りは終わる。誠にたわいもないが、いかにも農村劇の要素十分で見ていて楽しい。以上

楠元下の在住の有水昭八郎さんに、このコピーを見てもらうまでは、「牛這(うしべ)祭り」となっていました。漢字の読み違いです。さすがに地元の方。その時にいただいた資料については、次回に続けますので、ご期待ください。有水さん誠に有難うございました。

南方神社は、旧称:諏訪上下大明神(すわかみしもだいみょうじんじゃ)、俗称:御諏訪殿(おすわどん)平佐村の"村社"だった。祭神は建御名方神(たけみなかたのかみ)、八坂刀売神(やさかとめのかみ)、生神神社の祭神は事代主命(ことしろぬしのみこと)で商業の神と猿田毘古命(さるたひこのみこと)で導きの神。南方神社の創建年代は天文3年(室町時代:1534年)と寛文12年(江戸時代:1672年)社殿再興の記録がある。



1人 片道 300円

なるべく乗り合わせでの、ご利用をお願いします。

予約や利用の仕方など、詳しく聞きたい方は、コミセンまで連絡ください。



平佐東地区
コミュニティセン
ター

- 4月 25日(木) 自治会部会
- 26日(金) 体協総会
- 28日(日) 紫陽花草払い
- 5月 9日(木) 狂犬病予防接種
- 10日(金) 肺がん検診
- 12日(日) グランドゴルフ大会
- 15日(水) 民児協
- 23日(木) 運営委員会

☆ 5月慰霊碑掃除当番 ..楠元下自治会